

グラフィックサービス

JaGra

発行：一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

● 巻頭企画＝新春座談会

楽しく仕事ができる 著者から感謝される

素晴らしい自費出版の世界

● 特別企画

受注から可変PDF生成までを無人化

印刷プラットフォーム『Codenberg』

● 連載・シリーズ

ジャグラコンテスト第1次審査課題解説③

● NEWSとお知らせ

ジャグラコンテスト マイスター決定！

GS No.818
2020
01

電子版無料公開中!

スマホでも本誌が読めます

公式HPで本誌PDF版を公開中。
紙媒体より1週間早い毎月中旬に
ご覧いただけます。バックナン
バー閲覧もここから!



<https://www.jagra.or.jp/>

なかむら通信

読者の皆様へ



新年おめでとうございます。会長の中村耀です。旧年中はジャグラの活動へのご理解・ご協力をいただきありがとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催される特別な年でもあります。何よりも大きな災害が起きない平穏な一年を過ごせればと願っております。

少しでも会員各社で働く社員やその家族、そして関係する取引先やお客様が豊かになれるよう、一緒に頑張っていきたい。そして、年末には一歩でも前に進むことができた年だったと振り返るよう、令和2年も皆さんと一緒にしっかりと地に足の着いたスタートを切って行きたいと思います。

CONTENTS

● 年頭所感

01 2020年、新年のご挨拶

—— ジャグラ会長 中村 耀

● 巻頭企画＝新春座談会

02 楽しく仕事ができる 著者から感謝される 素晴らしい自費出版の世界

—— ジャグラ×日本自費出版ネットワーク

● 連載

14 オペレータースキルアップのために ジャグラコンテスト第1次審査課題解説③

InDesign 問題1: まえがき・目次・著者紹介・奥付・広告の制作

22 補助金のひろば④ 小規模事業者持続化補助金

26 需要創出を考える⑱ (株)ウイング (和歌山) さんの事例

● 特別企画

24 受注から可変PDF生成までを無人化 印刷プラットフォーム『Codenberg』

—— 開発元 (株) Amazing Day に、その概要を聞きました

● NEWSとお知らせ

15 書籍案内 こんなときどうする?! 知的財産アドバイス Vol.2

18 理事会&委員会通信 第3回理事会、役員推薦委員会

23 ジャグラコンテスト マイスター決定!

—— Illustrator マイスターに(有)めぐみ工房 (新潟) 津端優さん
InDesign マイスターに(株)ニューキャスト (会員外) 秋月由莉さん

29 ジャグラ作品展 募集を開始

—— 今年から大臣賞受賞4作品に賞金3万円が授与されます

22 会員の異動・訃報

28 事務局日誌と今後のスケジュール

月刊

グラフィックサービス

発行 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

年・頭・所・感

2020年、新年のご挨拶



一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

会長 中村 耀

新年おめでとうございます。

令和2年の年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は、天皇陛下の生前退位による剣璽等承継の儀から即位礼正殿の儀、祝賀御列の儀、大嘗宮の儀といった皇室行事が滞りなく行われ、改めて日本らしさを取り戻した一年だったように感じます。

また、ローマカトリック教会の教皇として38年振りに来日したフランシスコ教皇の思いやりに満ちた言葉は、ありがたく感じました。

一方では、台風15号、19号等による会員事業所への被災もあり災害の多い一年でした。

また、10月1日から消費税10%時代を迎え、軽減税率制度やポイント還元制度等の導入など、経済への影響を最小限にしたいという政府の意思もありましたが、直近の景気動向指数では、消費税増税後のマイナス幅は3.11 東日本大震災以来の大きさとなったということです (速報値)。

今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。選手ファーストで運営されることを期待して応援したいと思います。

また、「働き方改革」は昨年4月に一部施行されましたが、中小企業が本格的な対応の検討を開始しなければなりません。働き方改革は、少子化による人材不足、育児・介護等との両立を図る働き方等の対策として打ち出されたものですので、ワークライフバランスを考えた対策が急がれます。

ジャグラとしては、私が会長に就任して2期4年目という年でした。これまでの財政問題を解決しながら、事業を推進していくという姿勢はもちろん変えずに、「強いジャグラ～たくましさや軽やかさ～」を標榜してきました。働き方改革では、IoT化推進部会を生産性向上部会と分かりやすい名称に変更し、昨年11月に開催した地協会長・支部長が集まる全国協議会は「生産性向上」をテーマとして開催し、運営にご協力いただきました。生産性向上は働き方改革の対応の一つですが、皆さまのお役に立てる内容になると確信しています。

また、会員増強では、支部長・支部役員・支部会員の皆さまのご協力を得て推進して参りたいと思いますが、会員増強はただ単に会員数を増やすということのみではなく、会員数が増えれば多いほど「情報」を増やすことにつながりますので、その点もお酌み取りいただきますようお願いいたします。

今年6月にはジャグラ文化典高知大会が開催されます。多くのジャグラを愛するジャグリストの皆さんとお会いできることを今から楽しみにしております。

会員全員が一致団結して、この厳しい環境を乗り越える気概をもって、1社1社の努力と英知によって、必ずや明るい未来が来ることを期待してこの1年を頑張りましょう。

皆さまのご隆盛を祈念し、新年のご挨拶といたします。

楽しく仕事できて 著者から感謝される

新・春・座・談・会

ジャグラー

×

日本自費出版ネットワーク

ネット社会の昨今、ブログや SNS での自己表現は容易になりましたが、「自分のことを後世に残したい」「自分なりの表現や情報発信をしたい」という人は昔からおり、出版・印刷業界は「出版」という形で、それら需要に応えてきました。小ロットの文字もの印刷物を主力製品としていた軽印刷の流れを汲む私たちジャグラーも、90 年代半ばから組合の一事業として「自費出版」を支援し、その活動は「NPO 法人日本自費出版ネットワーク」という形で現在に受け継がれています。現在、「自費出版」はプライベート出版という域を超え、社会問題を扱ったテーマのものも増えるなど、益々、その存在が注目されていますが、2020 年の新年にあたり、改めてその存在意義を考えてみました。

×

ネットワーク設立の経緯と沿革 ～豪華な顔ぶれの最終審査員の皆さん～

■山崎 明けましておめでとうございます。NPO 法人日本自費出版ネットワーク（以下、ネットワーク）事務局長の山崎です。本日は進行役を務めますので、よろしくお願いいたします。

では新年のご挨拶を中村会長からどうぞ。

■中村 明けましておめでとうございます。ジャグラー会長の中村です。本日、ネットワークのお三方にお集まりいただいたのは、私が会長になってから毎年、日本自費出版文化賞の表彰式に出席し、入賞者の皆さん

素晴らしき自費出版の世界

一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会



会長

中村 耀

NS印刷製本(株)/東京・新宿

にお会いしているなかで、受賞者の笑顔はもちろん、ネットワークの皆さんが実際に楽しそうに式の運営を行っているのを目の当たりにし、「自費出版ってそんなに楽しいのかな？」と思ったのが発端なのです。僕の場合は自費出版を手掛けていないし、未知の分野というジャグラー会員もいらっしゃるの、その魅力を教えてもらいたくてお願いした次第です。よろしくお願いいたします。

■川井 明けましておめでとうございます。東京・三多摩支部・文伸の川井です。ネットワークでは中山千夏さんと一緒に共同代表をさせていただいております。今日はよろしくお願いいたします。

■岩根 明けましておめでとうございます。滋賀県支部・サンライズ出版の岩根です。ネットワークでは副代表幹事を仰せつかっております。今日はよろしくお願いいたします。

■中村 まず最初に伺いたいのは、ネットワークが設立された経緯です。もう二十数年前なので、ジャグラー会員の若手は知らないと思いますので少しご説明いただけますか？

■山崎 はい、それでは経緯と活動内容について簡単にまとめましたので、私からご説明いたします。資料 1（囲み）のとおり、自費出版を手掛けていたジャグラー会員らが集まって、1996 年 9 月の準備委員会、97 年 1 月の大阪の全国交流会を経て、同年 7 月に歴史家の色川大吉さんを審査委員長に迎え、日本自費出版文化賞を創設、作品を募集したのが始まりで



共同代表

川井 信良

(株)文伸/東京・三多摩

す。翌 98 年 7 月に東京ビックサイトで表彰式を行いました。1782 件の応募があるなどとても盛況でした。その後しばらく任意団体として活動していましたが、より広がりのある社会活動ができる NPO 法人化の話が持ち上がり、2004 年に色川先生の推薦もあって作家の中山千夏さんを代表に「NPO 法人日本自費出版ネットワーク」を設立、任意団体から数えて今年で 23 年目を迎えたことになります。

事業の大きな柱は、①「自費出版 HP」によるデータの蓄積と公開活動、②「日本自費出版文化賞」の主管運営、③「自費出版アドバイザー」の育成で、その他、これらに伴うイベントや研修会・出版などが主な活動内容です。

■中村 川井さんと岩根さんは、いつ頃から関わっていらっしゃったのですか？

■川井 準備委員会からです。

■岩根 私も同じです。

■中村 準備委員会に至るきっかけというか、その頃、自費出版が盛り上がっていたのですか？



副代表

岩根 順子

サンライズ出版(株)/滋賀



事務局長

山崎 良幸

ポピー工房/東京・三鷹市

■川井 きっかけは意外かもしれませんがパソコンの Windows95 なのです。同時にインターネットも登場し、HP なるもので情報の公開や発信など色々なことができるらしい。それまでもワープロの普及により、一般の人々が手軽に文章を書き留めるという状況にありましたが、インターネットの登場でそれらを世間に公開・発信する環境が整いました。自己表現の環境が広がったことを好機ととらえ、自費出版という新しいマーケットの勉強を改めてみんなでしようということになったのです。

■中村 そういえば、僕の好きな小説家の椎名誠、あの人は筆圧が凄く強いので、腕が痛くて書けなくなってしまったとき、ワープロだったかパソコンのおかげで、執筆がずっと楽になったって書いてますね。

■岩根 ええ、プロでない一般の人々についても、ビジネス・プライベート問わず、文章作成が容易になり、データが蓄積されていく現状を見て、これをビジネスにつなげられないかという期待はあったのです。だけど反面、危機感もあった。印刷会社を通さなくても、

●日本自費出版ネットワークの沿革

- 1996. 9 自費出版設立準備委員会開催（19 社参加）
- 1997. 1 大阪で全国交流会（80 人参加）
- 1997. 7 第一回総会で日本自費出版文化賞創設・初代委員長に色川大吉氏決定
- 1998. 7 第一回日本自費出版文化賞表彰式（東京ビックサイト、1782 件の応募）
- 2004.10 中山千夏氏を代表に迎え、「NPO 法人日本自費出版ネットワーク」を発足
- 以降、今年まで 22 回の文化賞を迎えるに至っている

●主な事業活動

- ①「自費出版ホームページ」によるデータの蓄積と公開活動
- ②「日本自費出版文化賞」の主管運営
- ③ 表彰式を兼ねた、「自費出版フェスティバル」の開催
- ④「自費出版ネット書店」の運営
- ⑤「自費出版アドバイザー」の育成・研修と認定制度の運営
- ⑥ 会員相互の交流会・研修会の開催
- ⑦ 自費出版制作に関する各種パンフレットの作成
- ⑧「自費出版年鑑」の発行

少部数の製作ならできてしまうわけだし、あの頃はCD-ROMのようなマルチメディア出版が脚光を浴び始めた時代でもありましたから。

ジャグラには70年代に「プリントショップ協議会」という有志グループがあり、一般客向けの研究や商品開発を行っていたんですね。年賀カットの清刷り集を配布して年賀状商戦に役立てたりとか。そういう志向をしていた会員の中には自費出版を手掛けていたところもあって、「手間はかかるけど波及効果大きい」という事例報告もあって、勉強しはじめたのが業界としての最初の動きでしょうか。その延長とっていいのか、大阪府支部で「ジャグラ文庫」という名で自費出版を盛り上げようという動きが出てきたんです。

■中村 大阪？ ジャグラ文庫？

■川井 「ジャグラ文庫」というブランド名で自費出版のマーケット喚起をやっていました。23～24年位前、佐藤章さん（㈱イデアル、現社長の先代）とかが熱心に。自費出版って面白いことに東京以外のほうが熱心な方が多いんです。仕事が少ないから。だからあつという間に全国の方々が興味を持たれてね。

■岩根 プリントショップ協議会の頃、東京の会員が「自費出版承ります」って看板掲げたら、お客が問い合わせに来て仕事にならないから、下ろしちゃったという話もありましたよ。

■山崎 贅沢な時代ですねえ。（一同笑い）

■中村 色川さんを迎えた経緯は？

■川井 立ち上げの際の中心メンバーで初代代表だっ

た清水英雄さん（㈱清水工房／東京・三多摩）が色川さんとお知り合いだったのです。

■山崎 現在の最終審査員のプロフィールを資料2（囲み）にまとめました。審査委員長は色川先生がご高齢ということもあり、2年前に鎌田慧さんにお譲りになり、現在7名の方をお願いしてございます。

■岩根 最初からの審査員は色川先生の人脈で、鎌田さん、中山さん、秋林さん。後から、中山さんの人脈で他の方々に参加していただきました。プロフィールをご覧いただければお分かりになる通り、もったいないほど有名で、その分野における造詣が深い方々に審査していただいております。

■川井 最終審査会で、それぞれの分野で第一人者の講評を聞くだけでも非常に勉強になりますね。どういう視点で選んでるか、例えばオリジナリティーがちゃんとあるかとか、そういう視点を学ぶことで、今後の仕事の参考にできますから。

■中村 錚々たる顔ぶれの方々だけど、それにしてもよく続きましたね。

■川井 このイベント、大変だけれど本当に面白く学ぶことが多いんですよ。そこが続いている理由じゃないですかね。

■中村 最終審査の前、第1次・第2次審査は、川井さんとか岩根さんたちでやっているんでしょう？ 全部読むの大変じゃないですか？

■山崎 大変ですよ。ある時期、審査員やってくれる方が少なくなったのですが、川井さんの発案で、それ

までに入賞された著者の方々に、「1次の審査員をやってくれないか」という依頼をしたんですよ。そうしたら起死回生、結構、地方の方々も協力してくださりましたね。やっぱり応募して入賞するほどの皆さんだから、色々な本を読みたいって気持ちもあるのでしょう。

■岩根 設立当初から10年間くらい、2次審査会が凄く楽しかったんですよ。清水さん（前述）の地元・八王子の大学セミナーハウス構内に「遠来荘」という茅葺の農家を移築した所があって、そこに本と一緒に各地のお酒や食べ物を持ち込んで昼から深夜まで、ああだこうだと議論しました。

■川井 囲炉裏があって、そこでみんな布団を敷いて寝るのですが、半徹夜で審査して、その後はお酒飲みながら語りましたよね。それが非常に印象深い昔の審査風景。（笑い）

■中村 なるほど、大変だけど楽しいという、先ほどのお話がわかるエピソードですね。



今年の日本自費出版文化賞について ～年々高まる社会的責任～

■中村 ところで昨年の日本自費出版文化賞についてお聞きしたいのですが。

■山崎 はい、昨年は508点の応募の中から、グラフィック部門の『NO NUKES～ビキニの海は忘れない～』、高知県の岡村啓佐さんの作品が大賞に選出されました。我々の世代なら、1954年、アメリカによ

る「ビキニ水爆実験」で高知のマグロ漁船・第五福竜丸が死の灰を浴びて船員の方1名が死亡したという事実を知っているわけですが、実は被害はそれだけでなく、延べ1000隻と乗組員1万数千人が死の灰を浴びていたのです。しかし被害は第五福竜丸だけとされ、操業の中心であった高知県のマグロ漁船員の存在は日米の政治決着によって無かったことにされた。受賞作は、若くして次々と病に倒れた漁船員に思いを馳せ、50人の証言でまとめた写真集です。

■中村 福竜丸の他に被害があったと？

■川井 ということです。我々は福竜丸しか知らなかったわけですよ。ところが実際は延べ992隻、延べっというから何回かあの海域に入ったということでしょうが、被爆しているんです。高知市の平和資料館の副館長である岡村さんが、その当事者や遺族50人に会って、写真を撮って話を聞いてまとめた本です。

審査委員長の鎌田さんが講評で、「このような本が自費出版だということが、今の出版界の実情を示している」と仰った。昔ならこの類の本なら、普通の出版社から出されていたらうけど、今は売れることが優先されてしまい、自費出版として製作されている。そういう所に問題があるのではないかということです。逆に言うと今の自費出版は、そういった社会的に責任や影響のあるものも拾っている受け皿でもあるわけで、身の引き締まる思いがしました。

■岩根 大手の出版社は、「本を作りたい」という電話があっても全然返事をしないらしいんです。費用対

最終選考委員のプロフィール

- 鎌田慧：1938年生、青森出身、早稲田大学文学部卒。業界記者を経てフリーのルポライターになる。1990年『反骨鈴木東民の生涯』で新田次郎文学賞受賞、1991年『六ヶ所村の記録』で毎日出版文化賞受賞。2018年から最終選考委員長に就任。「地域・文化部門」の選考を担当。
- 中山千夏：1948年生、熊本出身、麹町学園女子高等学校卒。1970年代は俳優・歌手として、TVで活躍。同時に文筆活動開始。1980年から参議院議員を1期務める。著書90冊以上。近著に『主人公はきみだ。ライツのランプをともしようよ。』『小説部門』の最終選考委員。
- 成田龍一：1951年生、大阪出身、早稲田大学文学部卒。横浜市立大講師、東京外語大助教授を経て、現在、日本女子大人間社会学部教授歴史学専攻、特に日本の近現代史。2019年『近現代日本史との対話（戦前・現在編）』出版。「個人誌部門」の最終選考委員。
- 小池一子：1938年生、東京出身、早稲田大学文学部卒。クリエイティブディレクター、コピーライターとして活躍。61年からフリーランス。セゾングループともコラボし、「無

- 品良品」の立ち上げに参画。1988年武蔵野美術大学教授。「毎日デザイン賞」「日本文化芸術振興賞」を受賞。現在「十和田市現代美術館」の館長を務めている。「グラフィック部門」の最終選考委員。
- 佐藤和夫：1948年生、東京大学人文科学哲学研究科卒。千葉大学教育学部名誉教授。大学では、ジェンダー・暴力・男女平等などのテーマをはじめ、教育学・倫理学・哲学の幅広い分野を研究。著書『ラディカルに哲学する』・『H・アーレント精神の生活』翻訳等多数。「研究・評論部門」の最終選考委員。
- 藤野健一：1940年生、東京出身、大学卒。元文芸春秋編集者、同人雑誌「水路」主宰。「エッセー部門」の最終選考委員。
- 秋林哲也：1936年生、秋田出身、早稲田大学文学部卒。元小学館文学編集長、読売カルチャー講師、近現代文学・近代詩『昭和文学全集』（小学館）、『集成・昭和の詩』など。「詩歌部門」の最終選考委員。

『NO NUKES～ビキニの海は忘れない～』の表紙（左）と本文（右）



左）記者会見で受賞作の講評を語る鎌田審査委員長

右）表彰式での記念撮影シーン
著者の岡村さん（中央）と最終審査委員・中村ジャグラ会長



効果考えたら合わないから、取りあわないの。ですが、著者にしてみれば「お金がかかっても出版したい」という思いもある。利益がでるでないだけで割り切れないのが自費出版の世界ですね。

■山崎 中村会長は毎年、表彰式に出席されて、何か印象に残ったことはありますか？

■中村 それはもう毎回感動しているというか、表彰者の受賞スピーチがねえ……。

■山崎 泣かされちゃうんですね。

■中村 泣きながら表彰状を読んだこともありますよ。表彰式の数日前に著者であるお父様が亡くなって、代理の娘さんがいらした時だったかな。壇上で表彰状を渡すとき、司会から突然そう伝えられてね……。

■川井 日本自費出版文化賞には各社の協賛を頂戴し

ていますが、例年の受賞スピーチを聞いて、「この会を応援して良かった」と仰っていただいております。

■中村 著者の皆さんが、どのような思いをもって、一生懸命、本を書き上げたかってことが分かりますよね。本当に感動的な表彰式なので、ジャグラ会員の皆さんに大勢来場して欲しいと思います。



我が社の自費出版ビジネスについて ～楽しく仕事ができ、著者から喜ばれる～

■山崎 今の話の延長線上になりますが、自費出版ビジネスとは、そのような著者の思いを形にするお手伝いをしているわけで、ご苦労も楽しさも共有することになります。そこら辺のところ、川井さん、岩根さん



左から、自費出版の夢を大いに語り合った中村会長・川井共同代表・岩根副代表の3氏

NEWS 12.15 日本自費出版フェスティバルが盛況に開催されました

台風19号の影響で10月13日から延期となっていた「日本自費出版フェスティバル」が12月15日、東京のアルカディア市ヶ谷で無事に開催されました。当日は「第22回 日本自費出版文化賞 表彰式」ならびに第1回目となる「自費出版即売会」、自費出版アドバイザーによる「ワンポイントアドバイスセミナー」も開催されました。

表彰式では、受賞者の制限時間を大幅に超えるスピーチに、会場は笑いあり涙ありの盛り上がり！即売会では16～21回までの日本自費出版文化賞の大賞・部門賞・特別賞の作品が展示販売され、興味深く手に取って読まれる来場者の姿も。セミナーも盛況で、終日活気に溢れたイベントでした。



はどのように取り組んでいるのでしょうか？ 自費出版を手掛けたきっかけなども含めて。

■川井 うちのきっかけは、都心の出版社からもらっていた仕事かな。数式とか、ちょっと高度な組版をして、軽印刷だから紙版（ダイレクト製版）で刷って納品していました。紙版といっても綺麗に刷れば全く遜色ないので、小ロットの出版に合うわけです。それが評判となり、徐々に出版の仕事が増え、本作りを学んでいった。そのうち自費出版というジャンルがあるから、自分たちでもやってみよう。元々が軽印刷だから文字ものの仕事をしてきたわけですが、当時の自費出版も文字主体だから、比較的取り組みやすかった側面はありますね。

やってみたらこれほど面白い仕事はない。お客さんが凄く喜んでくれる。自分史だったり追悼集だったり、お客さんの人生に入り込んでゆく楽しさがある。楽しく仕事ができ、喜ばれて、納品したら菓子折り持ってお礼に来られる仕事って余りないでしょう？ 近頃の問い合わせはやはり団塊の世代、70代入って少し自分の生きた証を残そうみたいな方が多いかな？

造本設計も面白いですよ。どんな書体で、どんな級数で、どんな行間で組んだら読みやすいとか、どんな紙を使ったらいいとか、表紙周りの装丁をどうするかとか、総合力が必要です。ジャグラの皆さんに伝えたいのは、未知の世界でも少し踏み込んで学ば、違った景色も見れて楽しいということですかね。

■山崎 岩根さんの所はどうですかね。

■岩根 うちの1930年の創業で今年90周年を迎えます。昨秋、滋賀のガリ版伝承館で「学校のガリ版」という企画展があったとき、創業者である父が戦前手掛けた本を何冊か初めて見たのですが、既に自費出版っぽい仕事も受けていたようでした。

本格的なきっかけになったのはダイレクトプリントで、名古屋で手書き文集を作っていた業者さんが組合の会合で「こんなええよ」というのを聞いて、それならやってみよう。学校の卒業文集を作ったのが始まりですね。

その頃、滋賀県が地元の情報誌を凸版印刷に発注していたのですが、せっかく地元のことを書いているんだから、地元の業者に作らせたらどうかということになり、競争入札で落札しました。その担当編集者から出版について色々教えていただきました。その方からは「自費出版だけにしておきなさい。間違っても企画

出版したら駄目よ」とアドバイスされたんですが、別の方からは「滋賀県は情報発信力が足りないから、本作りなさいよ」とも言われ、両方手掛けることになり、その楽しさを知って、どうしようもない深みにはまってしまった現在です。（笑い）

出版に対しては、著者の気持ちを汲み上げて形にすると、常に心掛けています。実は今日も東京のお客さんの相談を受けてきたところですが、「なんでうち知っててくれはったんですか」と聞いてたら、「いろんな出版社に当たったら、『お客さん、滋賀出身ならサンライズさんがいいよ』って言われました」との嬉しいお言葉を頂戴し、いいものを作っていけばそういうことが循環していくのかなと思っています。

■中村 製作の面で苦労している点とか、最近の傾向とか何かありますか？

■川井 20年位前の自費出版は、布クロスで金箔押してみたいなスタイルが多かったのですが、最近は色々な要望が多いですね。上製本についていえば、昔は200～300部だと製本屋さんで門前払いでしたが、今は50部くらいでもやってくれますね。

■中村 製本屋も仕事が少なくなっているからね。

■岩根 紙が余り選べなくなったのは辛いですね。

■中村 特殊紙の多くが廃番になってしまった。

■山崎 お客さんには3～4種類ぐらい候補を聞いておかないと、注文しても「廃番です」といわれて困っちゃいますよね。色なんかも含めて。

■川井 多品種小ロットの傾向はありますね。部数が非常に少なくなってきた、件数が増えた。

■山崎 そうですね。

■川井 面白くなってきたのは、色々なことができるデジタル印刷機が出てきたことですね。自費出版といえども今やフルカラーが当たり前ですが、自費出版のロットって200・100・50の世界。デジタル印刷機によって、それらの仕事が全部できるようになりました。

■山崎 僕も昨年、画集製作を請け負ったんですよ、2刷目。初版はオフセットだったけど、今回はオンデマンドで刷ろうということになり、色合わせが心配だったけれど、試し刷りしたら全く遜色なかった。お客さんも全く分らなかった。

■岩根 POD同様、デジカメやスマホも格段に進化したので、写真をいただく側としては楽になりましたね。昔なら、古文書だとか手紙だとか写真で載せたいとき、「お借りします、うちで撮ります」とってお願い

していましたが、最近は「三脚だけお使いください。スマホでも構いませんから真っすぐに」ということで、大体、大丈夫ですね。

機器の進歩で楽になった部分もありますが、DTPの普及で組版の乱れ、特に縦組みの乱れが目につきますね。ソフト任せで組んだだけで、バラバラ字間が空いてる応募作も散見されます。

■川井 そういう意味では、ジャグラの InDesign コンテストは素晴らしい事業ですね。あのような競技を通じて、読みやすい、きちんとした組版ができる人材を育ててゆくことが大事だと思います。

■中村 昔は和文タイプのオペレータが、頭の中に組版ルールをたたきこんで、気を使って組版していたけれど、今はソフト任せ。出版物として残るものだから、そういう所にも気を使いたいですね。

自費出版アドバイザーについて ～難解な試験をパスした真のプロフェッショナル～

■山崎 では次のテーマ、今のお話にも関係するところですが、ネットワークが行っている事業の一つとして、自費出版アドバイザー制度があります。川井さん、この制度についてご説明ください。

■川井 ネットワークの活動の一つとして、自費出版事業者の教育支援、そういう類のものをやっていこうということで始めました。出版物は文字を組んだり印刷するだけだけでなく、著作権とか肖像権とかそういう権利関係まで含めて幅広く学ばないと、お客様の要望には応えられませんので、総合的な知識を学ぶ場を提供しようということで、1999年に自費出版アドバイザーの養成講座を始めたのです。もちろん各社自らがそれなりに勉強しているのですが、全体的な底上げをしようという思いもあり、最終的にネットワーク認定のアドバイザー試験にたどり着きました。

試験は年一回、ほとんど記述式の50問。審査員5人で評価して75点以上取らないと合格とはなりません。かなり難関な試験ですが、1か月間、自宅や会社に持って帰っていいことになっています。要するに広く学んでもらうことに狙いがあるのです。現在、北海道の旭川から鹿児島島の奄美大島まで約100人が認定自費出版アドバイザーとして活躍しています。

■中村 幅広いって、どれだけ？

■山崎 心構えから始まって、相談の対応、提案、見

積もり、契約、デジタル入稿、編集、文字組版、制作、校正、校閲、造本設計、印刷加工、製本製函、著作権、肖像権、個人情報保護法、出版権、図書流通販売、電子出版まで、ありとあらゆる総合的な問題なので、満点はもちろん、90点超えも滅多にないですね。一生懸命勉強しても80点前後が多いかな。そのぐらい難しいです。

■中村 これは大変だ。受験資格は？

■川井 年に2回、開催するアドバイザー養成講座を最低2回受講しないといけません。だから最低、受けるまでには1年かかりますが、認定アドバイザーということで仕事が増えた人は多いです。

■山崎 本当に直接的なメリットがあります。実は私も保有者ですが、お客様のところに営業に行って、認定証のカード（写真上）をお見せすると効果てき面ですね。すぐ信用してもらえます。

■川井 初めて受験するジャグラ会員の社員の方から「社長から言われて受けてみたものの、こんなに幅広いことを学ばなくちゃいけないのか唖然としてしまいました。でも1か月間、色々調べたりしているうちに、奥深くて面白くて、本当に受験して良かった」と手紙をもらったことがあります。

■岩根 元々、勉強して欲しいという趣旨なので、こちらも嬉しかったですね。

■山崎 認定制度について、課題とかはありますか？

■川井 昨年、旭川の方が1浪して受かりましたが、遠方なので養成講座を2回受けるのがハードル高かったと仰っていました。現行制度でいいかどうか検討してもいいかもしれません。

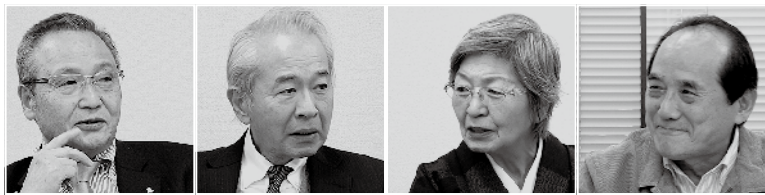
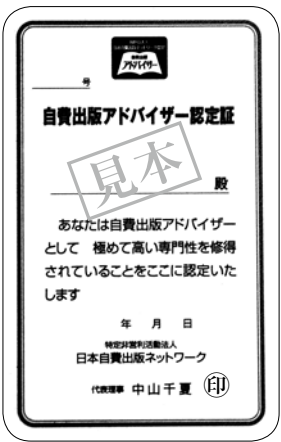
自費出版の将来と今年の抱負 ～ジャグラへの要望は？～

■山崎 今までのご説明を聞いて、中村会長、何かご質問はありますか？

■中村 ネットワークの立場から、ジャグラへの要望とかはありますか？

■川井 長いこと文化賞のご支援を頂いてるので、これからもずっと続けて欲しいという思いしかありませ

真のプロフェッショナルの証
「自費出版アドバイザーカード」
(見本イメージ)



ん。先ほどのビキニの本だけじゃなくて、今までにも素晴らしい本がたくさんあります。特に記憶に残っている大賞作品に、シベリア抑留中に亡くなった方の名簿という本がありましてね……。

■岩根 2009年、『シベリアに逝きし人々を刻む、ソ連抑留中死亡者名簿』。4万6300人の名簿で、1053ページの厚い本。この本は、当時、マスコミでも著者の業績が大きく取り上げられました。

■川井 こういうものって売れないでしょう？ だけど絶対残さなきゃいけない。こういう本にジャグラは日本自費出版文化賞の主催者として光を当てたわけで、印刷・出版文化を支えたという大きな意味がありますよね。誇りに思ってもいい。

■岩根 本当にご支援を続けていただきたいです。

■中村 分かりました。今日の座談会読んだ全国の会員さんも納得してくれるんじゃないかなあ。そうしたら交流会とか表彰式とか、そういうイベントにももっともっとジャグラ会員に出席して欲しいね。

■岩根 日本自費出版文化賞への応募は最近減少気味ですが、とりわけジャグラ会員企業からの応募が少ないのが寂しいですね。

■川井 興味深いのは、ネットワーク自体はジャグラ会員がまだまだ主体ですけど、全印工連の元気な若手が興味を持って参加しているのです。そういう団体の垣根を越える動きは大事にしたいと思います。

■岩根 ジャグラは最初から、ネットワークによその人が入ってきても容認するなど、懐が広いのね。

■中村 そういうところあるよね。いいものだから団体を越えて盛り上げていけばいいんじゃないかな。

■山崎 では最後のテーマ、自費出版の将来、あるいは自費出版ネットワークの将来について触れつつ、今年の抱負などをお聞かせください。

■岩根 将来を考えると心配なことが一つあって、それはきちんとした文章を書けない人がだんだん増えてきているということです。大学でも学生はもちろん先生でさえ論文を書けない人が増えている。その辺を何とかしていかないと、印刷・出版文化がなくなってしまふ、そういう危機感は感じますね。だから社会活動

的な支援も必要かなと思います。

■山崎 コピペですね。大学生なんか本当に多い。

■川井 自費出版ビジネス的には、お客様に対して「原稿書けなくても大丈夫、お話いただければ、私どもでまとめます」って進め方もあって、それはある程度高額な仕事になりますけどね。

■中村 原稿のない所に仕事があるってことね。

■川井 自分のことを表現したいっていう人は、いつの世の中にもいますが、ネットやSNSだけでなく、紙でもしっかり残したい人もたくさんいます。もちろん大きな部数じゃなくて小ロットですが、それらへの対応は、軽印刷を出自とする我々が得意としていた分野です。ですから未経験の会員さんであっても、ネットワークで自費出版についてしっかり学べば、やりがいがあるし、仕事の領域を広げられますので、ぜひネットワークに参加して欲しいですね。

■岩根 自費出版の仕事を始めるのに設備投資は要りません。志があれば素晴らしいお手伝いができます。

■川井 そういうわけで、ネットワークの今年の抱負は「会員増強」かな。とにかく今年も頑張りますから、よろしくお願いします。

■岩根 そうですね。やっぱり数は力ですから、ネットワークの会員を増やすことは大事です。日本自費出版文化賞の応募点数も、最近500～600と寂しいので、1000を目指して、色々な仕組みを考えないと駄目かなと思っております。

■山崎 現在、正会員が70社なんですね。20年前は100社近かったの、減っているのです。だから今年は10社ぐらい増強したいなと。それと応募件数も、直近の目標として最低100増やしたい。今年はその辺を具体的な目標としてやっていきたいと思います。

■中村 会長になって3年半、会員ファーストでどんなことにも当たってきたつもりですが、今日、皆さんから色々なお話を伺って、まだまだ知らない世界があるなあと思いつつ、楽しそうに語るお三方の顔を見て、今年もみんなが笑顔で仕事ができるよう、頑張っていきたいと思います。

■山崎 お時間です。どうもありがとうございました。

(構成・編集：藤尾泰一)



2020年 誌上新春名刺交換会



ユーザーサポート こそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の＜昭和謄写堂＞として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。
創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション＆リサーチ ユーザー会で密に情報交換

SHOWA会
年間活動
○研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
○会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで
SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149

株式会社
ショーワ
プリントメディアの総合商社
<http://www.showa-corp.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2丁目7番8号 TEL 03-3263-6141 (代) FAX 03-3263-6149

NS PRINT & POSTPRESS
DESIGNからでも 印刷からでも もちろん製本も

謹賀新年

NS 印刷製本 株式会社
代表取締役会長 中村 耀 代表取締役社長 中村 盟
〒162-0041
東京都新宿区早稲田鶴巻町 568
TEL 03-3203-5421 FAX 03-5273-0527
URL <http://www.ns-p.co.jp>

株式会社 ショーワ
代表取締役社長
伊澤 秀春
〒101-0065
東京都千代田区西神田 2丁目7番8号
TEL 03-3203-5421 FAX 03-5273-0527
FAX 03-3203-5421

FUJIFILM
Value from Innovation

富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社
代表取締役社長
辻 重紀
本社 〒100-0001
東京都港区西麻布 1丁目2番地30号 富士フイルム西麻布ビル
03-3401-4000
http://figs.fujifilm.co.jp

RMGT リョービMHI
グラフィックテクノロジー株式会社

代表取締役社長
広川 勝士
〒726-0002 広島県府中市鶴飼町800-2
Tel.(0847)40-1600 Fax.(0847)40-1601
<http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

コカミフルタジヤパン株式会社
代表取締役社長
原口 淳
〒100-0003
東京都港区芝浦 1の1の1
TEL 03-6311-9061
FAX 03-6311-9505

富士ゼロックス株式会社
グラフィックコミュニケーションサービス事業本部
本部長 **木田 裕士**
〒106-0032
東京都港区六本木 3の1の1
六本木タワーエキュートビル15F
TEL 03-3584-3225
FAX 03-3584-3810

一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会

石川県支部

ジャグラー愛知県支部

支部長 神山明彦
会員一同

〒451-0042
名古屋市中区那古野1-21の14
TEL 052(565)1118
FAX 052(565)1054

ジャグラー新潟県支部

支部長 高橋広好
会員一同

〒950-0084
新潟市中央区明石1-7の20
TEL 055(247)3245
FAX 055(241)8491

ジャグラー長野県支部

支部長 宮澤徹
会員一同

〒390-0821
長野県松本市筑摩1-11の30
TEL 026(35)4339
FAX 026(35)9849

株式会社サンライズ

代表取締役会長 添田隆寛
代表取締役社長 添田寛男

〒101-0004
東京都台東区北野二丁目32番18
電話。三(三八四五)七三〇

野毛印刷

代表取締役社長 森下治

営業企画本部
〒232-0027 横浜市南区新川町1-2
☎(045)252-2511
<http://www.noge.co.jp>

株式会社サニライズ

代表取締役社長 菅野 潔
代表取締役社長 菅野 潔

〒136-0071 東京都江東区亀戸2-3-13
TEL. 03-3681-2977
FAX. 03-3681-2990
e-mail: info@koueisyas.com
URL <http://www.koueisyas.com>

倉敷印刷株式会社

代表取締役 清水隆司

〒130-0013
東京都墨田区錦糸4-16の17
TEL 03(655)0031
FAX 03(655)0032

株式会社ダイミツ

代表取締役社長 星野浩之

〒110-0016
東京都墨田区両国二丁目10番14号
TEL 03(5600)1540
FAX 03(5600)1599

株式会社ムサシ

代表取締役社長 羽鳥雅孝

〒104-0061
東京都中央区銀座8-20の36
TEL 03(5546)7717
FAX 03(5546)7718

株式会社大塚商会

代表取締役社長 大塚裕司

〒102-8573
東京都千代田区飯田橋2-18-4
Tel.03-3264-7111

株式会社小池印刷

代表取締役社長 伊藤文雄

〒380-0936
長野市中御所3
TEL 026(227)6219
FAX 026(227)6284

創文印刷出版株式会社

代表取締役 熊谷晴樹

〒980-0821
仙台市青葉区春日町8の34
TEL 022(222)0181
FAX 022(266)4246

ジャグラー大阪府支部

支部長 山本一幸
会員一同

〒730-0062
広島市中区千田町3の2の30
TEL 082(244)1110
FAX 082(244)1199

ジャグラー大阪府支部

支部長 岡達也
会員一同

〒541-0048
大阪府中央区瓦町1の6の10
TEL 06(6227)8512
FAX 06(6227)8512

大阪府グラフィックサービス協同組合

理事長 岡達也
会員一同

〒541-0048
大阪府中央区瓦町1の6の10
TEL 06(6227)8512
FAX 06(6227)8512

NEVER STOP

印刷の新しい領域に挑み続ける。

人の感性に訴える印刷の価値。
膨大なデータから一人ひとりの印刷を生み出す多様性。
まだ見ぬ可能性を拓くために、私たちは挑み続ける。

FUJIFILM

Value from Innovation

Digital Press

CTP System

Workflow

FFGS TOTAL SOLUTION

Support

Wide Format

Package Print

Postpress

2020 新春

富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社

オペレータースキルアップのために ジャグラコンテスト第1次審査課題解説③

InDesign 問題1：まえがき・目次・著者紹介・奥付・広告の制作

DTPオペレーターの技能を競う「ジャグラコンテスト」の第1次審査が終了し、昨年10月4日に順位が決定しました。第1次審査で出題された課題内容と審査の要点を連載でお届けします。

課題内容

InDesign「問題 1：まえがき、目次、著者紹介、奥付、広告の制作」では、支給された素材、指示書、見本を元に、A5・2色の「まえがき」、「目次」、「著者紹介」、「奥付」、「広告」の5つをInDesignで制作する課題が出題されました（図1）。

出題の意図

一般的な書籍には、「まえがき」「目次」「著者紹介」「奥付」「広告」等、本文と体裁が異なるページが存在します。これらはページ数が少ないわりに、慣れていないと作成に時間がかかるものですが、他の本と同じ体裁を流用することもあるため、修正や文章の差し替えに対応できるデータになっていると便利です。

そのような観点から、「まえがき」「目次」「著者紹介」「奥付」「広告」を課題として取り上げ、効率的なデータの作成方法を考えていただくことにしました。

課題のポイントと必須技能

◎目次のリーダー罫

伸縮するリーダー罫の作り方はいろいろありますが、タ

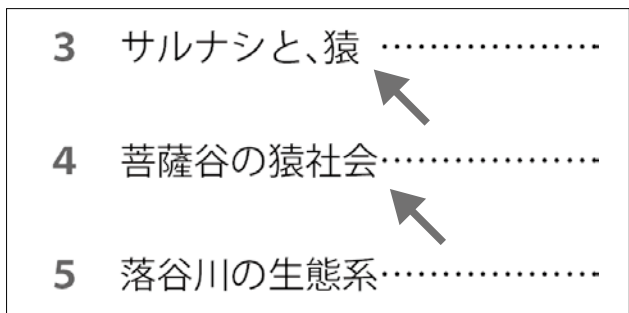
ブに「…（三点リーダー）」を入れる作り方は、文字とリーダー罫との間がアキ過ぎてしまうことがあるため、おすすめできません（図2）。一番困るのが、クライアントから、アキの大きい部分に対し、点を追加してアキを調整するよう赤字が入ることです。赤字に従い、1つ2つ点を追加すると、修正が大変です。

おすすめは、①タブに「・（中黒）」を入れる、②タブの文字サイズと字送りを調整し、点の大きさと間隔を整える、③タブの設定を文字スタイルに登録、④正規表現スタイルや先頭文字スタイルで適用する、という方法です。この作り方なら、文字とリーダー罫とのアキがある程度統一されます。また、この方法であれば、点の大きさと間隔を自在にカスタマイズできるので、汎用性が高く、あとから罫線に修正が入っても瞬時に調整することができます。

◎奥付

奥付を作成する場合、重版訂正で1行追加されることが想定されます。そこで、初版から版面下側を固定して、上方向に行が増える構造にしておくといよいでしょう（図3）。模範データでは表で作成していますが、段落境界線等、他の方法でも結構です。

このように、「文字の増減を想定したデータ＝修正に強いデータ」というのが基本的な考え方となります。



▲図2 三点リーダーは、半角や欧文が入ると、アキが不統一になる場合がある



▲図3 奥付は重版訂正時に2刷の情報を入れるため、1行増えることを想定しておく

この課題で一番の難所は？

◎広告：角丸の帯（図4）

文字量に合わせて伸縮する帯（端が半円）は、帯を段落境界線と下線で作成し、正規表現スタイルと先頭文字スタイルを適用すると、段落スタイルだけで作成できます。

InDesign CC 2019 以前のバージョンでは、テキストフレームの角オプションで半円を作成しようとすると、ゆがんだ形になってしまうバグがあるため、テキストフレー

監修 薬師寺恵摩

▲図4 テキスト量に合わせて、二つの角丸の帯を伸縮させる

ムでは作成できません（CC 2020 からこのバグが解消されています）。

<https://study-room.info/id/studyroom/cc2020/study01.html>

課題出題者からのメッセージ

実務では、「まえがき」はさておき、「目次」「著者紹介」「奥付」「広告」は、デザイン次第でIllustratorで作成することも多いでしょう。もちろん、どちらで作成してもよいのですが、InDesignで作成する方が、修正に強いデータを作りやすいです。

他の本に流用する、多量に修正が入る等が想定される場合には、作成時間だけでなく、修正も含めたトータルの作業時間から、InDesignとIllustratorのどちらで作成するのが最適か、選択できるといいですね。デザインによっては、無理にInDesignだけで作るのではなく、Illustratorと組み合わせて作成してもよいと思います。

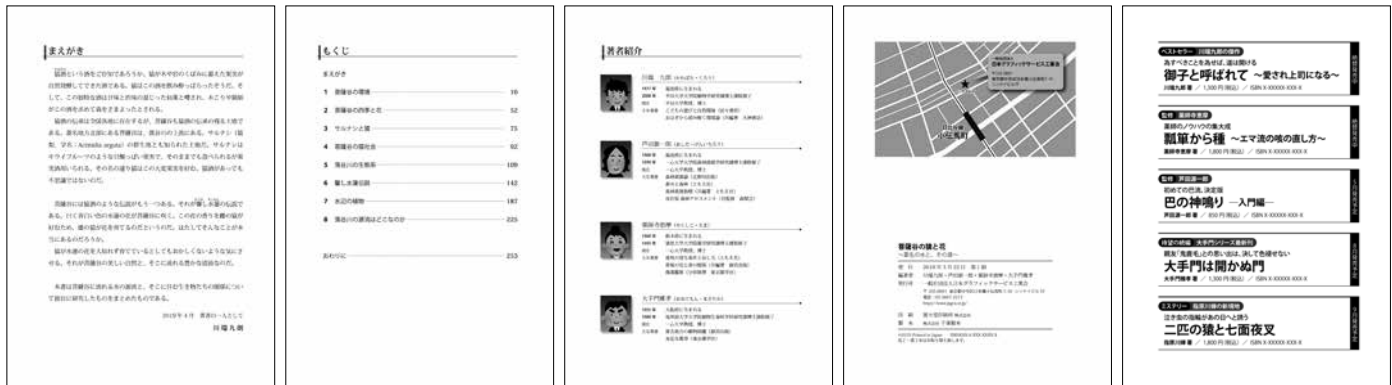
図版付き解説と模範データは特設サイトで！

ジャグラコンテスト特設サイトでは、第1次審査課題の解説文全文を図版付きで公開中です。コンテスト未受験の方もご覧いただけますので、ぜひスキルアップにご活用ください。

また、受験者の方は、第1次審査課題資料に記載されたダウンロードID・パスワードを使用して、「ダウンロード」ページから課題の模範データをダウンロードいただけます。

▼ジャグラコンテスト第5回特設サイト

<http://www.jagra-contest.com/>



▲図1 「問題1：まえがき、目次、著者紹介、奥付、広告の制作」の完成見本

印刷会社のための こんなときどうする?! 知的財産アドバイス Vol.2 日印産連

ジャグラなど印刷関連10団体が組織する（一社）日本印刷産業連合会が、印刷会社が知っておくべき著作権・知的財産権の概要を2部構成にまとめたもの。

●内容

◎第1部：印刷業務に関わる知的財産の全体像

◎第2部：こんなときどうする?! 知的財産アドバイス

■定 価：ジャグラ会員 2000 円（税送別）
一般 3000 円（税送別）

■購 入：日印産連 HP/ 出版物のご案内ページにてご購入ください。

<https://www.jfpi.or.jp/publication/>



高知で世代交代!!

ジャグラー 第55回総会 第62回文化典 **高知大会**

五 日 記念ゴルフ大会
おきやく(前夜祭)
その他

六 日 定時総会・文化典
大おきやく(懇親会)
その他

日時 令和2年 6月6日 土
会場 ホテル三翠園

七日 土佐満喫旅行
(日帰り・一泊コース)

ジャグラーを
せんたくするぜよ!



主宰:一般社団法人日本グラフィックサービス工業会 主管:一般社団法人日本グラフィックサービス工業会四国地方協議会 主催:一般社団法人日本グラフィックサービス工業会高知県支部

ジャグラー副会長
ジャグラー東北地方協議会会長
熊谷 正司

(株)くまがい印刷
〒010-0001
秋田市中通6-4の21
TEL 018(666)3220
FAX 018(666)3220

ジャグラー東北地方協議会
理事
向井 一澄

〒028-7111
岩手県八幡平市金沢1-16の9
TEL 0195(76)2514
FAX 0195(75)0731

ジャグラー中国地方協議会
会長
宮崎 真

〒730-0000
広島市西区商工センター7-5の33
TEL 082(277)6954
FAX 082(278)6954

関東複写地方協議会
理事長
斎藤 隆正

東京都文京区小石川1-4の12
文京ガーデンザウエスト704号
TEL 03(3815)4338
FAX 03(3815)4357

ジャグラー北海道支部
支部長
渡辺 辰美

〒070-0033
旭川市3条通4丁目右1号
TEL 0116612612
FAX 0116612612

ジャグラー栃木県支部
支部長
高橋 亮太

〒321-1421
栃木県日光市所野1122の183
TEL 0288(54)1223
FAX 0288(54)1241

ジャグラー千葉県支部
支部長
尾形 文貴

〒261-0002
千葉市美浜区新港2-13の5
TEL 043(242)4849
FAX 043(245)7233

ジャグラー神奈川県支部
支部長
岡澤 誠

〒210-0846
川崎市川崎区小田五十二-1
TEL 044(333)2787
FAX 044(333)7787

リコージャパン株式会社
代表取締役
社長執行役員
坂主 智弘

〒105-8503
東京都港区芝3-8の2
TEL 03(6837)8800
FAX 03(6873)4546

株式会社モリサワ
代表取締役社長
森澤 彰彦

〒556-0011
大阪市浪速区敷津東一-16-15
電話 06-6491-2151

株式会社モトヤ
代表取締役社長
古門 慶造

〒542-0001
大阪市中央区南船場1-10の25
TEL 06(6261)1931
FAX 06(6261)1930

SCREEN

代表取締役社長
木谷 活
Katsu Kitani

株式会社 SCREEN GP ジャパン
〒135-0044
東京都江東区越中島一丁目1-1
ヤマタネ深川1号館
TEL 03-5621-8266
FAX 03-5621-8378
www.screen-gpj.co.jp

Horizon
Change the focus

「理屈」で考えるワークフロー、
ポストプレスにフォーカスしてみませんか



四六判半裁全自動紙折機+横型プレススタッカー
AFC-566FKT+PST-44

大型カラータッチパネルを搭載し、用紙を1枚挟むだけで、全ての設定を数十秒で行います。便利なワイヤレスリモコンを標準装備し、操作パネルから離れている場所でも操作できます。



自動無線綴機4クランプタイプ
BQ-480

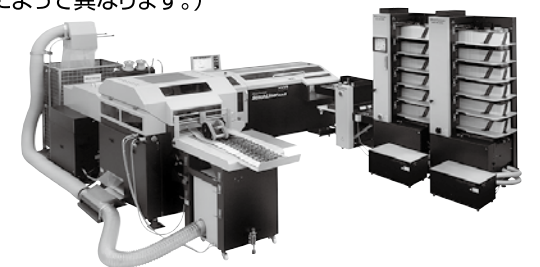
セット替えの高速化による、小ロット、バリエーション製本での高生産性を実現。1冊ずつ厚みの異なるバリエーション製本を最高で時間800冊で処理することが可能です。



PUR
対応

ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム
StitchLiner MarkⅢ

厚みの異なる冊子に応じて各部を自動で調整、作業を中断することなく安定した高品質な製本を実現。A4S綴じ冊子は最高6,000冊/時間、A4E綴じ冊子は最高5,300冊/時間で処理することが可能です。(製本速度は紙質や紙の厚さによって異なります。)



全油圧断裁機
APC-610

幅61cm、厚さ10cmまで一度に断裁でき、プレッシャとともに、カッティングも油圧式で強力です。



ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03(3863)5361(代) FAX.03(3863)5360
東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03(3652)7631(代) FAX.03(3652)8083
京都支社 〒601-8206 京都市南区久世大藪町510 TEL.075(933)3060(代) FAX.075(933)4025
福岡営業所 〒813-0034 福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092(626)8111(代) FAX.092(626)8112

理事会&委員会通信

ジャグラの活動報告です

第三回理事会、役員推薦委員会 議事録より

ジャグラの諸会議や活動内容について、理事会や各委員会の議事録掲載を通してご報告いたします。

×

11.15 第三回理事会

次期役員改選数を決定

ジャグラは令和元年11月15日、東京ドームホテル会議室にて第55年度第三回理事会を開催し、次回定時総会（高知）における役員改選数を決定した。

×

議事に先立ち、11月5日逝去した谷口一郎顧問、11月10日に逝去した久場衛沖縄県支部長の黙祷をした。

第一号議案 役員の派遣・スケジュールに関する件

省略：巻末スケジュール表をご参照ください。

第二号議案 役員改選に関する件

2020年6月の定時総会では役員改選が予定されているので次の通りとしたい。

- 1）役員推薦委員会を設置したい
役員選挙規程第2条に規定する役員推薦委員会を設置したい。
- 2）役員数配分を決定したい
役員推薦に関する運用基準第2条に規定する役員の配分を、次のようにしたい。（右表参照）

- ①役員総数：29名（関東複写をプラスした前回と同じ）
 - ②地協に配分する理事数：23名（前回、関東複写を会長指名で推薦したものを、今回、地協に配分したい）。内、副会長の数＝6名（前回と同じ）
 - ③監事候補は次の選出としたい。
会員監事＝北海道、東海地方協議会が各1名推薦する。
員外監事＝役員推薦委員会が1名推薦する。
- 《検討の経緯》
原案通り満場一致で承認した。

第三号議案 ジャグラ文化典開催地に関する件

7月の理事会で令和2～4年までの文化典開催地を決定し、令和5年については中国地協が持ち帰って検討することになっていたが、宮崎理事（中国地協会長）より、担当支部は未定であるが、中国地協で受ける旨の報告があった。

【表】地協に配分する以外の理事を含めた選出母体別理事候補

選出母体	理事配分数	その内訳			備考
		副会長	理事	その他	
北海道	1	1	2		
東北	2				
関東	3	1	2		
東京	7	1	6		
北陸	1	1	2		
東海	2				
近畿	3	1	2		
中国	1	1	2		
四国	1				
九州	1				
関東複	1		1		
全国	1			会長1	
全国または員外	2			専務1 常務1	
その他	1		1		会長候補指名
青年部	2		2		
合計	29	6	20	3	

《検討の経緯》
異議なく第三号議案の報告は満場一致で承認した。

第四号議案 全国協議会に関する件

省略：運営や担当に関する確認にて省略します。

第五号議案 BCP「緊急連絡網」作成に関する件

昨年、BCP部会として、理事・支部長の携帯電話の一覧の緊急連絡網を策定した。今年度、緊急連絡網を更新したので、理事・支部長に配布したい。

〔主な意見〕
◎事務局が積極的に被害を把握して欲しい。
◎今回、本部一地協、本部一支部、地協一支部のラインは機能

◎出席
（会 長）中村 耀
（副会長）熊谷正司、岡澤誠、菅野潔、岡本泰、山本耕司
（専 務）沖敬三
（常 務）守田輝夫
（理 事）渡辺辰美、向井一澄、宮本誠、尾形文貴、齋藤秀勝、青木滋、吉澤和江、中村盟、吉岡新、笹岡誠、原田大輔、高橋広好、谷川聡、岩下登、宮崎真、本村豪経、松本徹
（監 事）佐藤順、松永英明
※直原孝一（高知県支部長）、黒井由美子（関東複写センター協同組合事務局）の2氏がオブザーバーとして出席
◎欠席
（副会長）中越忠男
（理 事）清水隆司、早坂淳、斎藤隆正
（監 事）前沢寿博

したのか？ →本部一地協、本部一支部は機能している、地協一支部も聞いている限りでは機能したと思う。

◎本部で被害を集約して、それを関係者に報告するタイミングが遅いように思う。 →今回は被災後2回報告したが、被害報告1件毎に報告するのか、集約して報告するのか、今後の検討課題にしたい。

《検討の経緯》
異議なく満場一致で承認した。
※編集部注：緊急連絡網については12月16日にCSR委員会で検討しました。本誌2月号に掲載予定です。

第六号議案 事業報告に関する件

書面報告にて省略：事業については「委員会報告」として本誌にて都度ご報告します。

第七号議案 台風被害に対する寄附に関する件

昨年、90周年を迎えた賛助会員(株)ショーフ様より、被災地支援に使って欲しいと寄附金を頂戴したが、先般の台風被害に対し、以下のように支出した旨を報告した。
福島県支部5万円、キング印刷(株)（福島）および共栄印刷(株)（福島）10万円の合計15万円

《検討の経緯》
満場一致で承認した。

第八号議案 その他の件

- 1）ニッケイビル6階入居契約について
(株)アイセル（化粧品会社）12月16日入居予定
- 以上

11.16 ジャグラ役員推薦委員会

ジャグラは令和元年11月16日、東京ドームホテル会議室にてジャグラ役員推薦委員会を開催した。出席者は以下の通り。

×

地 協	役職	委員名	会社名
北海道	地協会長	渡辺 辰美	(株)あいわプリント
東北	地協会長	熊谷 正司	(株)くまがい印刷
関東	地協会長	岡澤 誠	(有)中溝グラフィック
東京	地協会長	菅野 潔	(株)興栄社
東京	委員	笹岡 誠	(有)ドウ・ブラン
北陸	地協会長	高橋 広好	共立印刷(株)
東海	地協会長	岡本 泰	(株)クイックス
近畿	（代理）	山本 耕司	やまかつ(株)
中国	地協会長	宮崎 真	(株)ニシキプリント
四国	（代理）	直原 孝一	(有)総合コピーサービス
九州	（代理）	松永 英明	(有)松永印刷
関東複	（代理）	黒井由美子	関東複写センター協同組合

※臨席：中村耀会長、沖敬三専務、守田輝夫常務、並木清乃事務局長、長島安雄総務部長

《検討の経緯》
◎委員長が決まるまで事務局が進行した。中村会長が挨拶を述べ、委員会での検討を要請し、ここで中村会長と沖専務は退席した。その後、事務局より各委員を紹介し、慣例に従って次のとおり、委員長・副委員長を互選した。
委員長＝笹岡 誠（東京地協）
副委員長＝岡澤 誠（関東地協）
副委員長＝山本 耕司（近畿地協）

◎委員長の指示に従い、事務局より委員会の役割について、
①「会長候補・専務理事候補・常務理事候補」「監事候補」の推薦業務と、②各地協に配分した役員数の候補者名簿の集約業務の二つある旨を報告した。
◎会長候補の推薦方法について
委員長は、会長候補について、続投を要請したい旨を発言し、各地協に意見を求めた。（各委員よりの意見は省略）
委員長は、各地協の意見を集約し、別の候補がある場合は12月16日までに事務局に報告するようお願いし、各委員は承諾した。
◎その他の候補の推薦方法について
会長候補の意向を確認し、推薦することにした。
◎次回日程について
次回、必要があれば開催することにし、具体的な日程は決まらなかった。
以上で第一回役員推薦委員会を終了した。

以上

株式会社 グッドクロス 代表取締役 原田 大輔 〒141-0031 東京都品川区西五反田2-26の5 TEL 03 (6420) 2088 FAX 03 (6420) 2089	株式会社 ケーヨー 代表取締役社長 早坂 淳 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4の1の6 TEL 03 (3242) 0191 FAX 03 (3242) 0167	株式会社 クイックス 代表取締役社長 岡本 泰 〒448-0025 愛知県刈谷市幸町2の2 TEL 0566 (24) 5511 FAX 0566 (26) 0200	株式会社 北斗プリント社 代表取締役 谷川 聡 〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町38の2 TEL 075 (791) 6125 FAX 075 (791) 7290
---	--	--	--

株式会社 登プリント社 代表取締役社長 岩下 登 〒577-0808 大阪府大阪市東淀川区1-14の14 TEL 06 (6723) 8788 FAX 06 (6723) 3321	株式会社 荒川印刷 代表取締役社長 荒川 壮一 取締役 会長 荒川 幹夫 〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目16の38 TEL 052 (262) 1006 FAX 052 (262) 2296	株式会社 伸光堂 代表取締役 中越 忠男 〒780-8040 高知市神田638の24 TEL 088 (834) 3403 FAX 088 (834) 3403	JaGra 本部事務局一同
---	---	---	------------------------------------

共立速記印刷株式会社 代表取締役会長 吉岡 新 代表取締役社長 笹井 靖夫 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-24 PHONE.03-3234-5511(代) FAX.03-3263-2740	日経印刷株式会社 代表取締役社長 広瀬 智 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-15-5 TEL 03(6758)1001 FAX 03(3263)5814 https://www.nik-prt.co.jp
--	--

あなたの会社を守る ジャグラ・グループ保険

- 特長1 掛金が割安です(例: 30歳男性、1口277円/月)
- 特長2 死亡時保障額は最高1600万円
- 特長3 事故による入院もワイドに保障
- 特長4 医師の診査はありません 告知のみでお申し込みいただけます
- 特長5 掛金のお支払方法も簡単です

お問い合わせはジャグラ事務局・酒井まで **Tel.03-3667-2271**

TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。



東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口

プリントデスク ☎ 0120-269-132

平日(月~金) 9:00~17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic
<http://www.lithmatic.net>

補助金のひろば④

「小規模事業者持続化補助金」

経営基盤強化委員会

経営基盤強化委員会（岡澤担当副会長、中村盟委員長）は、経営に役立つ補助金情報を隔月で紹介しています。今回は野口淳委員（㈱アクティブ：東京・文京）が「小規模事業者持続化補助金」について紹介いたします。



◎倉庫管理や労務管理システムのためのソフトウェア購入、POS レジソフトや会計ソフトの購入など

補助率・補助額

◎補助率：補助対象経費の2／3以内

◎補助額：補助上限額 50 万円

野口委員のコメント

弊社の場合社員が私と社長の2人なので、何をしても基本私が動くしかないのですが、そうすると現状継続ばかりに気を取られ、新規取引先開拓への予算の割振りもままならないという状況です。そういった意味で、この補助金額は少ないですが、申し込みがそこまで複雑ではないので、来年度にまた公募があれば弊社も応募してみようと思います。

メリットという程の大きな効果は期待できないかもしれませんが、ジャグラ会員の中には弊社の様な、中小企業よりさらに小さい規模でお仕事をされてる会社も多数あるのではないのでしょうか？ 従業員5人以下の会社だと、なかなか助成金も見つからない状況ですが、そんな方々にも役に立つようなものをお願い、探してみました。

以上、平成30年度の概要をご紹介しました。例年4月末に募集が開始されますので、詳しくは商工会議所にお問い合わせください。詳細は下記 URL をご参照ください。

◎小規模事業者持続化補助金

<https://h30.jizokukahojokin.info/>

●退会

可部プリント社（広島）、㈱タニハラプリント（愛媛）、(有)潮印刷（沖縄）

| 計 | 報 |

沖縄県支部長・久場衛氏が、昨年11月10日に逝去されたと、本部宛てご連絡がありました。謹んでお悔やみ申し上げます。

お知らせ ジャグラコンテスト ミスター決定！

2代目 Illustratorミスターに
(有)めぐみ工房（新潟）の津端優さん

5代目 InDesignミスターに
(株)ニューキャスト（会員外）の秋月由莉さん

「ジャグラコンテスト第5回 Illustrator/InDesign」の第2次審査実技試験が、昨年10月26日、ジャグラ本部で実施され、厳正なる審査の結果、Illustrator 競技は(有)めぐみ工房（新潟県支部）の津端優さん、InDesign 競技は(株)ニューキャスト（会員外）の秋月由莉さんが、それぞれ総合1位に輝き、ミスターの称号を手に入れました。

×

当日は、第一次審査を突破した Illustrator9 名、InDesign10 名のファイナリストが受験し、Illustrator は InDesign への配置を想定したグラフィック制作1問（100点満点）、InDesign は会員クラス別バリエーションデータサンプルの制作1問（100点満点）の課題が出題され、下記の結果となりました。表彰式は6月6日のジャグラ高知大会にて執り行われます。

Illustrator 競技

第1位 259点（185点+74点）津端 優 (有)めぐみ工房 / 新潟

第2位 247.5点（193点+54.5点）後藤 明子 やまかつ(株) / 大阪

第3位 241点（182点+59点）後藤 宏幸 共立速記印刷(株) / 文京



InDesign 競技

第1位 248点（188点+60点）秋月 由莉 (株)ニューキャスト / 会員外

第2位 241点（188点+53点）奥瀬 隆史 トーバン印刷(株) / 岩手

第3位 232点（194点+38点）川原 正隆 (株)ニューキャスト / 会員外



Illustrator 2次審査ファイナリスト（1次審査得点順）

1位	後藤 明子	やまかつ(株) / 大阪
2位	長渡 洋介	(株)ながと / 宮崎
3位	津端 優	(有)めぐみ工房 / 新潟
4位	後藤 宏幸	共立速記印刷(株) / 文京
5位	小林 志保	電算印刷(株) / 長野
6位	細田 理恵	(株)ウィザップ / 新潟
7位	内田 恵理	共立速記印刷(株) / 文京
8位	茂木 圭介	(株)双文社 / 文京
9位	楠藤 治	ディメンションナントウ / 徳島



後藤明子



長渡洋介



津端 優



後藤宏幸



小林志保



川原正隆



秋月由莉



奥瀬隆史



宮澤広子



茂木圭介



細田理恵



内田恵理



茂木圭介



楠藤 治



畔上翔太



長渡洋介



白木隆士



後藤明子



清水利恵

InDesign 2次審査ファイナリスト（1次審査得点順）

1位	川原 正隆	(株)ニューキャスト / 会員外
2位	秋月 由莉	(株)ニューキャスト / 会員外
2位	奥瀬 隆史	トーバン印刷(株) / 岩手
4位	宮澤 広子	垂細垂印刷(株) / 会員外
5位	茂木 圭介	(株)双文社 / 文京
5位	畔上 翔太	日経印刷(株) / 千代田
7位	長渡 洋介	(株)ながと / 宮崎
7位	白木 隆士	電算印刷(株) / 長野
9位	後藤 明子	やまかつ(株) / 大阪
10位	清水 利恵	(株)北斗プリント社 / 京都

概要

商工会議所の管轄地域で事業を営む小規模事業者※を対象に、販路開拓のための取り組みや業務効率化（生産性向上）の取り組みについて、2／3が補助されます

※小規模事業者の定義

常時雇用する従業員の数	
商業・サービス業（宿泊・娯楽業除く）	5人以下
サービス業のうち宿泊業・娯楽業	20人以下
製造業その他	20人以下

補助対象となる事業

1）地道な販路開拓等の取り組み

棚の購入、チラシ作成、販促PR、国内外の展示会への出店、ネット販売システムの構築、新商品の開発、チラシのポスティング、PRイベント会場借り上げ、専門家の指導や助言、店舗改装など

2）業務効率化（生産性向上）の取り組み

◎業務改善の専門家からの指導や助言、従業員の作業導線の確保や整理スペースのための店舗改装など

| 会 | 員 | の | 異 | 動 | 2019年11～12月分

●新入会

◎(有)ベテラン便 千葉 剛（東京・文京支部）
〒112-0002 文京区小石川3-38-8 STビル1F
Tel.03-5689-0803/Fax.03-5689-0058
URL <http://www.veteranbin.com>

◎(有)セントラル製版 古谷 欣也（東京・新宿支部）
〒130-0025 墨田区千歳3-17-17 いづみハイツ1F
Tel.03-5624-1171/Fax.03-5624-1173
URL <https://central-prepress.com/>

受注から可変PDF生成までを無人化 印刷プラットフォーム『Codenberg』

開発元 (株) Amazing Day に、その概要を聞きました

—— 教育技術委員会・POD研究部会

教育技術委員会 POD 研究部会（担当副会長熊谷正司、部会長原田大輔）では今期、POD を有効活用するための考え方や技術情報収集に取り組んでいる。POD は小ロット・多品種に最適な生産手段だが、クライアントに貢献できるビジネスモデルの構築や、人手をかけずに生産する仕組みづくりがポイントになってくる。(株) Amazing Day（東京都品川区）が開発したクラウドシステム『Codenberg（コーデンベルク）』は、バリエブル印刷用のデータ生成を自動化し、高付加価値製品の提供とプリプレス作業の効率化を実現する。POD 部会ではシステムの概要や活用事例の説明を受けるとともに、原田大輔部会長が改めて同社事業統括部長の藤原達郎氏とビジネスデベロップメント Div. 営業の溝口喜隆氏に話を聞いた。

×

データ変換・連携で可変データ生成を効率化

Amazing Day は 2009 年に創業し、印刷プラットフォーム『Codenberg』の開発および運営と、デジタルサイネージシステム『Enplug』の販売および運営を行っている。佐賀県でパッケージ、ダンボール、箱のデザイン・製造・販売を展開する(株)サガシキの関連会社で、設立当初からデジタル印刷機と連携したシステムを手掛けてきた。『Codenberg』は登録したデザインテンプレートの可変箇所データにデータを流し込み、バリエブル印刷用の PDF を生成するシステム。印刷発注用の Web サイトと連携することで、印刷物のマスカスタマイゼーション（個別品の大量生産）を可能にし、新しいビジネスを生み出す可能性を持っている。

『Codenberg』に登録したデザインテンプレートには、企業が所有する EC サイトやスマートフォンアプリ、CRM（顧客管理）システム、人事システム、商品データベースなどから、任意のデータが引き出され、自動的に流し込まれる。可変データが流し込まれたデザインテンプレートは面付され、印刷に最適化された PDF / X-1a に変換さ

れて印刷会社に送られてくる。印刷会社はデータを受け取り、POD で出力することになる。

例えば、名刺の場合、表面に社員の氏名や役職、顔写真などが人事システムから、裏面に担当する商品情報が商品データベースから流し込まれる。1 枚ごとに異なる商品情報を組み込むことも可能である。

一般的に名刺データの生成は、印刷会社から顧客から CSV（表計算ソフトやデータベースソフトで使われるデータ変換用のファイル）で人事情報を受け取り、デザイン担当者がテンプレートに CSV データを流し込む指示をかける。『Codenberg』の場合、予め特定の顧客向けに立ち上げた名刺発注用の Web サイトでクライアントが注文指示を出せば、自動的に面付 PDF が生成され、この間、印刷会社は人手をかけずに済む。これによりデータ受け渡しに伴うセキュリティ上の事故や、変換ミス、文字化け、流し込みのミスなど人為的なトラブルを避けられる。

CRM システムや人事システムから受け取る可変用の基礎データは、基本的にそのまま流すことができない。『Codenberg』ではそれらのデータを変換する API（アプリケーション プログラミング インターフェイス）を実装することができる。API は利用する CRM システムや人事システムでエクスポートされるデータに合わせて開発する必要がある。

発注タイミングの設定で印刷指示も自動化

『Codenberg』は印刷会社への発注作業も自動化する。設定したシナリオの条件が揃うと、印刷用 PDF が生成されて印刷会社に送られるもので、企業の EC サイトやマーケティングオートメーションシステムと連携する。

EC サイトの事例では、会員（消費者）が商品をカートに入れたまま、パソコンを閉じたり、EC サイトから離れたりする『カート落ち』が発生した時に、カートに入れた商品を印刷した DM が自動的に生成される。印刷会社は



お話を伺った同社事業統括部長の藤原達郎氏（左）と
ビジネスデベロップメント Div. 営業の溝口喜隆氏（右）

(株) Amazing Day 会社概要

代表取締役社長：枝吉 宣輝
資本金：2700 万円
従業員数：8 名（2019 年 6 月現在）
お問い合わせ：cheers@amazingday.co.jp

その DM の PDF を印刷し、郵送する。カート落ちしたタイミングで DM を送付することで、会員に買い忘れを思い起こさせて購買の機会を広げ、EC サイト運営会社の売上向上につなげる。

『Codenberg』では『カート落ち』というシグナルを受け取ると、EC サイトと連動する CRM システムから会員の住所・宛名と、DM のテンプレートに商品データベースから抽出した商品の写真や情報を紙面に流し込む。ハガキの形態・A4 判で出力する場合は 4 面付、A3 判で出力する場合は 8 面付で PDF が生成される。

あるスポーツチームでは、ファンを対象に自前の Web サイトで選手の写真を載せたカレンダーやポスターを受注している。サイト内のテンプレートに、ファンが選手の写真を選んでオリジナルのカレンダーやポスターが作れるもので、発注後に印刷用の PDF が自動生成されて印刷会社が印刷・加工して発送している。このほか、保険会社の営業用の食品パッケージ、ユニーク QR コード入りの DM など様々な商材に利用されている。

3 つの利用ライセンス

『Codenberg』の基本的な機能は API で変換されたデータからの可変 PDF の自動生成だが、生産管理や配送管理、アカウント管理など印刷会社向けの機能も提供されている。

■生産管理

指図伝票印刷、生産工程管理、工程差戻し、工程間メッセージング、ホットフォルダー連携、MIS 連携、PDF/JDF ワークフロー連携



Codenberg の製品サイト
<https://codenberg.io/>

■配送管理

一括・個別配送伝票 CSV、商品 1 点ずつのシリアルコード発行

■アカウント管理（PRINTBUSINESSプランのみ）

顧客管理、工場管理、商品管理、代理ログイン

基本利用プランは『プロ』、『エンタープライズ』を用意。『プロ』は初期費用 5 万円、月額 2 万 9800 円、ページチャージ 10 円 / 1 ページ、印刷部数条件 1 万部。『エンタープライズ』が初期費用 30 万円、月額 9 万 8000 円、ページチャージ 5 円 / 1 ページとなる。このほか、『TRIAL』という試用プランはライセンス、月額利用料が無料、ページチャージ 10 円、印刷部数条件 10 ページとなっている。ページチャージは PDF が生成された時点で課金される。複数の EC サイトでも一つのライセンスで利用できる。

1 日当たりの生成量は約 10 万ページ。それを超える場合はサーバーを増強することになる。使用フォントはグーグルフォント。テンプレートは Adobe Illustrator CC 2017・CC 2018 に対応している。

小ロット印刷は総じて単価が低いため、売上に対して営業経費、営業事務を含めた事務経費、製版作業のコスト比率が高くなる。『Codenberg』では初期のデザインが確定すれば、自動で注文を受け付け、製版、製造指示まで無人化されたため、営業経費・製版作業のコストがゼロに近く、また、事務経費も抑えられ、利益率の改善が見込める。加えて Web で受発注する仕組みで商圏が広がるほか、リピート性も高く、小ロット印刷物を効率的に集めることができる。

シリーズ 需要創出を考える⑬

印刷需要が低迷し、価格競争が激化する経営環境の中で、ジャグラ会員企業はどのようにして活路を見出そうとしているのかを探るシリーズ。今回はジャグラ作品展受賞企業の中から、和歌山県支部の(株)ウイングさんの事例をご紹介します。

事例19 作品展 / 宣伝印刷物部門 全国中小企業団体中央会会長賞

新分野への挑戦を印刷営業に生かす わずかでも「ほかと違う」と思ってもらうために

～ 葛西臨海水族園利用案内 日本語版・英語版 ～

(株)ウイング/(和歌山)

はじめに

弊社は和歌山県を拠点とする印刷会社として出発しました。現在は印刷に関する設備・人員の一貫体制を強みに、お客様の価値創造をトータルでサポートする広報支援事業や、地域に根ざした自社媒体を発行する出版事業など、新たな分野にもチャレンジしています。

ベースとなる印刷事業は、お客様のところに顔を出す、愛想良くしてかわいがってもらおうという旧来の営業法だけではなかなか通用しない時代になってきました。しかし新たなチャレンジを進めた結果、印刷営業の分野でも、どうすれば他社と差別化できるか、ウイングの強みを感じてもらえるかということを念頭に置くようになり、お客様に深く入り込むスタイルが身につきつつあります。今回入賞させていただいた「葛西臨海水族園利用案内」は、旧来の営業法に加えてそういうスタイルでも工夫を重ね、お客様に「ほかの印刷会社とは違う」と思っただけた事例です。

実績は土台、情報が武器

葛西臨海水族園様とは以前からお付き合いがあり、これまでもポストカードやうちわなどの販促物を受注してきました。しかし、価格勝負も激しく、最近は見積もり合わせで敗れることが多くなっています。そのような状況のなかでも、他のお客様の案件で面白い印刷物や販促物の実績ができればこまめに顔を出して紹介し、アピールを続けました。「ウイングはこういうことができる会社だ」という印象を定着させるためです。これは印刷営業の基本で、今回

の受注の第一歩となりました。

また、新しい取り組みで新規の訪問先が増えたことにより、多様なジャンルの方々から話が聞けるようになったことが、結果的に大きな武器になりました。そこで得た情報をもとに、さらに突っ込んだ話ができるようになったからです。例えば、大きく「集客」という視点で考えれば、動物園や博物館のような施設はもとより、大学の学生募集や、中小企業の求人、プロスポーツのスカウトなど、聞きかじった情報が何かのヒントになるかもしれません。持っている情報の量と種類を増やせたことで、これまでのアピールで築いた土台の上に、新たなスタイルを構築する一步を踏み出しました。

ウイングなら相談にのってくれる

今回の案件は、もともと印刷業者とデザインを担当する業者を別々に選定する予定でした。しかし、弊社としては一貫で受注したい案件です。そのため、「水族館の営業ツール」という用途に合わせた手触りや見え方を考えた用紙の選定から提案し、ざっくりとしたデザイン案の相談にも対応しました。

これまでのアピールで、デザイン制作から製本・発送までの一貫体制や、英訳にも対応できるというハード部分の強みについては認識してもらっています。そこから一歩進み、興味が持てるような情報提供と提案ができたこと。それが決め手となって、「ややこしい仕事だけど、ウイングさんなら全部相談にのってくれると思った」と言ってもらえるだけの信頼を得て、単独での受注となりました。

日本語版



作品展で入賞した
『葛西臨海水族園利用案内』

英語版



自社媒体にも力を入れている 『COURSE』(左)と『ほうぼわかやま』(右)



デザインをイチからつくること

この仕事で難しかったのは、「デザインをイチからつくること」。そしてそれを短納期で仕上げることでした。お客様によっては、ページレイアウトや使用するビジュアルの選定を「そちらのデザイナーのセンスに任せる」というのは往々にしてあることですが、出した案が満足を得られなければ、何度もつくり直すことになり、またそれによってこれまでの信頼を失うリスクもあります。信頼を失うリスクがあるということは、そういう依頼をしても大丈夫という信頼の裏返しでもあります。

そのあたりの認識について、営業担当とデザイナーとの間で熱いやりととりもありました。一筋縄ではいきませんが、バチバチやりあったおかげで、熱い成果物が仕上がったとも言えます。また、短納期でイチからつくる経験をしたことは、デザイナーと営業担当双方が成長するきっかけにもなったはずです。

会社全体でレベルアップを

新たな分野に踏み出すことは、簡単なことではありません。しかし、旧来の印刷業にとどまっていたのでは、未来はないでしょう。今回、新たなチャレンジによって得られた印刷営業の「気づき」は、ほんの小さなことです。しかし、ほんのわずかでもお客様に「ほかと違う」と思ってもらうことは、大きなアドバンテージになります。

弊社では、会社全体で「仕事を増やす仕組みづくり」を模索・実践しています。新たな分野への挑戦も、その実践のひとつです。挑戦を続けることで、これからも今回のような小さな気づき・成長の機会はたくさんこぼれてくるはずです。そしてそのひとつひとつにきっちり取り組んで、会社全体でレベルアップしていくことができれば、需要を創出するための何よりの武器になるのではないのでしょうか。それが、需要創出へのいちばんの近道なのかもしれません。

(寄稿：同社 宇治田健志)

事務局日誌と今後のスケジュール

12月の事務局日誌

3日 プライバシーマーク現地審査(埼玉)
4日 ビジネス推進委員会・生産性向上部会・マーケティング部会(本部)
5日 高知コンベンションセンター来局→沖専務、守田常務
7日 山梨・三多摩合同講演会・忘年会(石和温泉)→中村会長
9日 プライバシーマーク審査会+忘年会(本部)
11日 日印産連 専務理事連絡会議(日印産連会議室)→沖専務
13日 経営基盤強化委員会+忘年会(本部)
14日 自費出版アドバイザー養成講座(本部)
15日 自費出版表彰式(アルカディア市ヶ谷)
16日 CSR委員会(本部)、ジャグラ文化典高知大会実行委員会(高知)→守田常務、事務局
17日 JIPDEC 指定審査機関会議(JIPDEC)→斎藤プライバシーマーク審査センター長
18日 JIPDEC 感謝の集い(ANA インターコンチネンタルホテル)→斎藤プライバシーマーク審査センター長
23日 ジャグラ BB 部会
27日 仕事納め

令和2年1月のスケジュール(2019.12.27時点)

6日 仕事始め
7日 福岡県支部新年交歓会(アークロイヤルホテル福岡天神)祝電
8日 会長新年挨拶(本部)中村会長・菅野東グラ会長、委員長会議(本部)、拡大理事会(本部)、日印産連新年交歓会(ホテルオークラ「平安の間」)
9日 大阪府支部新年会(ウェスティンホテル大阪)
14日 東印工組新年会(パレスホテル東京)
15日 東グラ理事会(本部)
16日 日印機工年始会(東京プリンスホテル)、プライバシーマーク現地審査(都内)
17日 愛知県支部 新年集会(ザ・コンダーハウス)→沖専務、千葉県支部新年会(京成ホテルミラマーレ)→岡澤副会長、岩手県支部・印刷工業会合同新年会(アートホテル盛岡)、宮城県支部新年会(江陽ランドホテル)
18日 北陸地協総会・新年会(福井市)→中村会長、長野県支部・講演会・新年会(ホテルメトロポリタン長野)
20日 東グラ新春賀詞交歓会(東天紅上野本店)
21日 関東複写センター新春セミナー&新年賀詞交歓会(ロイヤルパークホテル)
22日 プライバシーマーク現地審査(鹿児島)
24日 広報部会(本部)
27日 プライバシーマーク審査会(本部)
28日 日本印刷機材協議会新年互礼会(銀座クレストンホテル)→中村会長・沖専務・守田常務・並木事務局長

2月のスケジュール(2019.12.27時点)

1日 四国地協総会(高知)
5日 「PAGE2020」開会式(池袋サンシャインシティ)、ビジネス推進委員会・生産性向上部会・マーケティング部会(本部)、総務委員会(本部)
7日 M&A部会(本部)
15日 プリントネクスト2020(秋田市文化会館)→中村会長
18日 4団体トップ話し合い・懇親会
26日 個人情報保護セミナー(本部)
28日 関東地協幹事会(都内)

お詫びと訂正

本誌12月号表紙の掲載記事タイトルで「補助金のひろば④」と表記しましたが、実際には該当記事は掲載されていませんでした。訂正するとともに謹んでお詫びいたします。なお、HPにて提供しているPDF版につきましては、修正のうえ掲載しておりますことを併せてご報告いたします。また、該当記事は本1月号に掲載しました。(編集部)

事・務・局・便・り

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。今年はオリンピックイヤーです。観戦チケットが当たった方、おめでとうございます。私は当たらなかったのですが、せめてマラソンでも思ったのですが、会場が札幌に代わってしまったので、気を取り直してテレビで応援することにします。この日のためにすべてをかけてきたアスリートたちの姿を目に焼き付けて、精一杯応援したいと思います。期間中、鉄道や道路の大変な混雑が予想されます。物流や納品などで大きな影響がありそうですので、早めの対策をご検討ください。(K.N)

月刊
グラフィックサービス
No.818
2020
01

月刊『グラフィックサービス』818号

■発行日 令和2年1月10日(毎月1回)
■発行人 中村 耀
■編集人 早坂 淳
■発行所 一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16
TEL 03-3667-2271
FAX 03-3661-9006
WEB https://www.jagra.or.jp/



ジャグラは一般財団法人日本情報経済社会推進協会指定のプライバシーマーク指定審査機関です

■編集部 メール edit@jagra.or.jp

◎原稿/編集/校正

沖 敬三 守田 輝夫 長島 安雄
酒井 玲子 並木 清乃 阿部奈津子
今田 豪 (以上、ジャグラ事務局)
斎藤 成 (東京グラフィックス/広報委員)
藤尾 泰一 (㈱インフォ・ディー/広報委員)
日経印刷(株) (校正のみ)

◎渉外 守田 輝夫

◎広告 酒井 玲子

◎Web 阿部奈津子

◎組版/デザイン (㈱インフォ・ディー)

組版 = Adobe CS6/CC ほか
フォント = モリサワ OTF ほか

◎製版/印刷 日経印刷(株) (東京・千代田支部)

RIP = 大日本スクリーン Trueflow
CTP = 富士フイルム XP-1310R
刷版 = 大日本スクリーン PT-R8800ZX
印刷機 = ハイデルベルグ社 SM102-8P
インキ = DIC
用紙 = 三菱ニューVマット FSC-MX 菊判 62.5kg

※本誌はFSC森林認証紙(管理された供給源からの原材料で作られた紙)とLED-UVインキ(リサイクル対応型)を用い、環境に配慮した印刷工場で生産されています。https://www.nik-prt.co.jp/

Copyright 2020 JaGra / 禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です。
また、原則 TM・®マークは省略しています。
※乱丁/落丁本はお取り替えいたします。

ジャグラ作品展

JaGra AWARD 2020

出版印刷物部門

宣伝印刷物部門

業務用印刷物部門

開発開拓部門

募集期間

2019年
11月1日(金)
~2020年
3月末日(火)

■募集対象 2019年中に完成した作品

■発表 ジャグラHPおよび本誌6月号

■表彰式 2020.6.6(土)
ジャグラ文化典高知大会(ホテル三翠園/高知県)

■応募方法 応募作品に申込書を添えて、ジャグラ本部までご送付ください。送料は応募社負担となります。申込書(Word文書)はジャグラHPよりダウンロードしてください。

申込書に評価して欲しいポイントをわかり易く書きましょう!

作品審査は3次にわたって公平かつ厳正に行われますが、審査員経験者から「申込書に評価して欲しい点をわかり易く記入している作品が、上位入賞を果たしている」旨のアドバイスがありました。申込書に書ききれない場合は、別紙添付でも構いません。

主催/一般社団法人日本グラフィックサービス工業会 主管/ジャグラ作品展部会

後援/経済産業省、厚生労働省、高知県、全国中小企業団体中央会、一般社団法人日本印刷産業連合会、公益社団法人日本印刷技術協会、日本印刷機材協議会、学校法人日本プリンティングアカデミー、業界報道関係6社(以上予定を含む)

一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

https://www.jagra.or.jp

TEL.03-3667-2271 Fax.03-3661-9006

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16 ニッケイビル

Assist Your Potential

— 技術力と創造力で、あなたの可能性を支援する —

品質検査

濃度追従

見当調整

— ^み 視て、判断して、制御する —

PQS-Dがあなたの眼になる。

損紙を減らすことが求められる刷り出しの見当調整。
本刷り中の印刷障害や濃度変化に気を遣い、印刷物と
ずっとにらめっこ。神経をすり減らし、息つく暇がない
のが今の印刷現場です。

RMGT の印刷品質管理システム PQS-D は印刷機上の
CCD カメラがあなたの眼となり、刷り出しから刷り
終わりまで、絶え間なく印刷物を監視しつづけます。
品質検査はもちろん、濃度追従や自動見当調整の機能
が、オペレーターを^{たす}援けます。



印刷機上の CCD カメラが印刷中の用紙を監視

RMGT とともに、世界へ彩りを。

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社
〒726-0002 広島県府中市鶴飼町 800-2 TEL 0847-40-1600
<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>